

国内最大の猛禽類オオワシ 県南で越冬か

網走の流氷とオオワシ観察ツアーがテレビなどで報道されているが、参加者の殆どが関東方面の皆さんである。一度は行ってみたいと思っていたが、流氷は無理としてオオワシが県南の地元でも見ることが出来ました。

神岡の写真家 T 氏が、10月30日に雄物川と玉川の合流点でオオワシ成鳥を撮影。そのあと上流に向って飛び立って行ったそうです。

12月10日に、横手市のF氏から雄物川町でオオワシ成鳥を撮影したと連絡が入った。早速現場に駆け付けると、小高い山の松の木でっぺんでオオワシが悠然と佇んでいた。もしかすると、この地で越冬する可能性があるのではと期待が昂り、機会があるごとに雄物川町通いが始まった。



威厳のあるクチバシと鋭い眼光。

12月15日、16日、24日に撮影確認が出来、翌2024年は1月17日と19日にも撮影することが出来ました。何れもあまり離れていないエリア内での行動から、罫はこの近くにあると思われた。このまま2月から3月頃まで滞在してくれたら、県南では初めての越冬地となります。



ここから川の獲物を狙っているようだ。



一気に飛び立って行った。

雄物川周辺には主食の魚やカモ類などの食べ物と、安全な自然環境が整っているのでしょう。世界的に棲息数が少なく、天然記念物と絶滅危惧種に指定されるオオワシ。野鳥の会でも慎重に見守っていくことにしました。



川岸の枝から狙いを定める。



獲物を見つけたのか飛び立った。